

令和6年度 学校経営グランドデザイン

鹿児島市立星峯西小学校

<学校教育目標>
よく考え、よく思いやり、心身共にたくましく生きる力と笑顔があふれる子どもの育成

鹿児島市教育振興基本計画

【目指すべき教育の姿】

- 郷土への誇りと愛着がもてる子供の育成
- 予測困難で変化の激しい時代にあって、よりよい社会と幸福な人生の創り手となるために必要な「生きる力」の育成
- 心身ともにたくましく健やかな成長
- 学校・家庭・地域・事業者などが連携・協働しながら、学び続ける人づくり

【校訓】

かしこく（知） なかよく（徳） たくましく（体）

【キャッチフレーズ】

みんなで助け合い、みんなで学び、笑顔あふれる星西の子

「学校経営の基調」

- 諸法に基づき、国・県・市教育行政を踏まえ、創立44年の歴史と伝統を継承するとともに、すべての子供がプラスになる魅力ある学校づくりを推進する。

「星西プライド」

【経営方針】

- 全教育活動を通して、仲間と一緒に、学級・学校・地域をよりよくしていこうとする精神（利他の心）を理念とし、ローカルとグローバルの両者の視点を踏まえた教育活動を充実させ、子供一人一人が志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を育む教育を推進する。

【時代の要請】

- Society5.0超スマート社会で、人間の強みを発揮できる教育への転換（非認知能力の育成）
- グローカルな人材育成（国際的な視点による見方・考え方、地域の文化に寄り添った活動）

【めざす学校像】

- 夢や希望を育み、自己実現を支援する学校
- 一人一人を大事にし、明るく活気に満ちた学校
- 地域と共に歩み開かれた学校

【めざす子ども像】

- よく考え、進んで学習する子供
- 礼儀正しく思いやりのある子供
- 健全な心と健康な身体を備えた子供

【めざす教師像】

- 使命感をもち、研鑽に努め、自身の資質を高める教師
- 一人一人に寄り添い、共に実践し、励まし伸ばす教師
- 家庭や地域との連携に努め、信頼される教師

【数値目標】

- （全国学調）
- 全国平均以上
- ※+3以上
- （鹿児島定着度）
- 県平均以上
- ※+3以上
- （チャレンジかごしま）
- 長縄
- 学年×20+100
- （虫歯治療率）
- 70%以上
- （タブレットの活用）
- 100%/日
- 持ち帰り100%

■ TASK 10 ■

- 子供一人一人の自己肯定感の高揚及び協働的な“小さな社会”の構築
- 系統的・横断的な学びの充実（主体的・対話的で深い学び、小中連携）
- 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成
- 仲間意識をもち、仲間と共に目標に向かって協働する活動の充実
- アナログとデジタルによる学習指導の融合
- 道徳科授業の充実と全教育活動における道徳的問いの連続的展開
- 差別や偏見をなくす意識・意欲・態度及びその実践行動を重視した人権同和教育の推進
- 全職員の協働態勢を基盤とした校内組織の機能化（学年⇄全体）
- 子供と向き合う時間の確保（デジタル化、優先的業務の明確化）
- 家庭・地域との連携・協働、学校運営協議会（CS）の充実

「かごしまグローバルに対応した教員育成」

I 自己肯定感を育む学びの充実	II 仲間と学び、共に成長する学びの充実	III デジタルとアナログの融合	IV 学びのスキル向上	V 探究心をもち研鑽する教師
■子供一人一人の見方・考え方・感じ方を大事にした教育活動の展開 ○課題解決的な学習者主体の学習過程 ○自力解決の時間の保障 ○リフレクションによる学びの深まりの確認及び活動の自己選択・自己決定 ■共に学び共に伸びる、互いを認め合う教育活動の展開 ○対話活動の充実（7分/1h） ○「失敗」から「挑戦」に向かう授業構成・効果的な学習材の提供と十分な時間確保 ■命の教育の充実	■仲間意識をもたせ、仲間と共に目標に向かって協働する活動の展開 ○各種行事等において、「利他の心」を踏まえた目標の明確な設定 ○活動の事前・事中・事後において、進行状況の振り返り及び課題点の共有 ■「道徳的自己」及び「自己内対話力」向上 ○道徳的な見地で自己の言動を振り返る場の設定（面談、相談） ○道徳的な問題場面に身を置き、自我関与して考える場の充実（道徳科学習） ■インクルーシブとダイバーシティの視点	■タブレット端末の限界と効用を踏まえた活用 ○ベーシックタイム（朝活動）の実施 ○パワーアップタイム（土曜授業）実施 ○反転授業の部分的実施 ○デジタル教科書の活用 ○タブレット端末の活用事例の共有及び確実な実践 ○探究学習における効果的な活用 ○思考ツールを活用した対話活動の充実発展	■児童生徒が自己調整能力を高め、自己学習を進めていく力の育成 ○自学マネジメント力を高める指導 ・学び方（学習の個別化）の指導 ・重点教科（社会、算数） ・発達の段階に応じた指導 ・認知カウンセリング ○学習支援ソフト「ナビマ」の活用 ・家庭でのタブレットの有効活用 ○「家庭学習強調週間」の実施 ・小中連携 ○ScTN質問紙の活用	■各種委員会を機能化させ、高い組織力と問題解決力をもったチーム星西の構築 ○学力向上推進委員会 ・諸検査の結果分析と重点課題の設定 ・重点項目及び共通実践事項の設定 ○研究推進委員会 ・個別最適な学びと協働的な学びの往還モデルの提案 ・各教科による授業実践と授業研究 ・子供の学びの姿に着目した対話的、協働的な授業研究

～ 「組織目標」：全職員の協働体制を基盤とした校内組織の機能化（各学級 ⇄ 各学年 ⇄ 各学年部 ⇄ 三部会）～

【開かれた学校】～地域家庭との連携～

- コミュニティスクールの推進
- 地域人材や地域資源の積極的な活用
- 各種PTA行事の開催（授業参観・PTA・学校保健委員会等）
- HIPや学校便り、各種通信等による積極的な情報発信

⇄ 学校運営協議会 (CS) ⇄

【信頼される学校】～教職員の資質向上～

- 校内研修の充実
- 教職員の評価（かごしま教員育成指標）
- 人事評価制度
- 教職公務員としての服務規律、危機管理体制の確立
- 働き方改革の推進